

2010 年度報告書 (COE 教員)

氏 名	安里和晃
職 位	特定准教授
<p>研究概要</p> <p>人口構成の変化とケアをめぐる人の国際移動をテーマとし、主に、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) EPA をめぐる看護師・介護福祉士候補者の動向、聞き取り調査</li> <li>2) アジアにおける看護師・介護士・家事労働者・結婚移民の動向、聞き取り調査</li> <li>3) 欧州評議会、OECD などの国際会議での報告</li> <li>4) 論文執筆、編集、講演活動への積極参加</li> <li>5) 各種研究会・会議のコーディネーションと開催</li> </ol> <p>などを行ってきた。1)、2) については時間の調整の問題から現地調査が思うようには進まなかった。3) については招聘を含めできる限り参加するようにし、ネットワーク構築を心掛けた。今年度は編著書を刊行することができた点は評価できる。共著論文は 2 本、学会誌 1 本や各種国際会議や学会での報告など充実した 1 年となった。研究会やプロジェクトについてはコアプロジェクトの移動班と公共圏の研究会を、また厚生労働省科研、EPA の事例集 (笹川平和財団助成金)、結婚移民研究会 (トヨタ財団助成)、人口移動の新潮流への対処事業 (笹川平和財団) の調整・運営に携わった。研究会などの企画・調整については分担体制がうまくいかず非効率的な点があり、今後の課題である。</p>	
<p>教育概要</p> <p>英書講読、特殊講義の 2 科目とオムニバス講義を担当。英書講読においては台湾大学での発表を念頭に PPT を作成の上、発表してもらった。ソウル大学との交流会においては修士の学生を対象に報告を行った。台湾大学との交流会に向けて発表演習の企画開催、台湾への付添いなどを行った。次世代グローバルワークショップを統括。学部学生、修士学生に対してインフォーマルな形で論文執筆指導、フィールド調査等の支援、アルバイト支援などを行った。学外においては世界人権問題センター主催の講演会を担当した。</p>	
<p>業績リスト (著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する)</p> <p>(著書)安里和晃編著『労働鎖国ニッポンの崩壊』ダイヤモンド社、2011 年。</p> <p>「少子高齢社会における移民政策と日本語教育」田尻英三・大津由紀夫編『言語政策を問う!』ひつじ書房、2010 年。</p> <p>「EPA 看護師候補者に関する労働条件と二重労働市場形成」五十嵐泰正編著『労働再審②越境する労働と&lt;移民&gt;』大月書店、2010 年。</p> <p>(国際会議)"Healthcare Migration and Demographic Change in Asia", ADBI/OECD Roundtable on Labor Migration in Asia: recent trends and prospects in the post crisis context, Asian Development Bank Institute, Tokyo, Jan. 18-20, 2011.</p>	